

(リスクアセスメント) 後尾警戒 作業手順書

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和6年11月25日	後尾警戒車両		ヘルメット、手袋、安全靴、安全チョッキ からまんで-W(黄旗)、しらすんだー受信機 レッドホーンW(赤色棒)、消火器	規制材一式
改訂日					
作成者	渡部				
必要資格等	運転免許(準中型)			作業人員	2名
備考					その他

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因			危険有害要因低減対策	誰が		対策後		【 留 意 考 事 図 項 】
				可能性	重大性	評価		点検・確認	可能性	重大性	評価	
準備作業		作業前ミーティング										
	1	作業打合せをする(危険予知活動)	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	2	4	規制協議書(規制図)の確認をする	全員	1	2	2	
	2	作業責任者の確認をする	作業員同士の意思疎通が行われていない	2	1	2	作業分担、配置、使用車両の確認をする	全員	1	1	1	
	3	車両の点検をする	車両の不具合がおきる	2	2	4	車両点検をする(回転灯の作動も含む)	全員	1	2	2	
			荷物が飛散して事故がおきる	2	2	4	荷台に養生ネットを施し、規制材は、ロープ等で固定する	全員	1	1	1	
			スペアタイヤが落下して事故がおきる	2	2	4	落下防止対策を確実にする	全員	1	2	2	
	4	点灯表示内容の確認をする	点灯表示内容を間違える	1	2	2	確実に表示されているか自分の目で確認する	全員	1	1	1	・表示板の破損がないかも同様に確認する
	5	配置位置の確認をする	協議書通りの規制でない	1	1	1	規制協議書(警察協議)の規制図を確認する	全員	1	1	1	・渋滞後尾に配置する場合は、必ず、管制及びメンテに指示を受けてから出発する
	6	夜間作業においては、灯具類の確認をする	自発光チョッキの球切れがある	2	2	4	配線、電池の確認をする。又は取り替える	全員	1	2	2	
			規制灯具類が光らない	2	2	4	出発前に発光確認をする(予備も持参)	全員	1	2	2	
移動		現場への移動										
	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	周囲確認をして運転する	運転手、助手	1	2	2	
	2	高速道路に入る前にプレート区間の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	車番、通行区間を二人以上で確認する	運転手、助手	1	1	1	
本作業												
	1	無線を開局する(一宮管制へ)	開局連絡を忘れる	2	1	2	確実に連絡する	職長	1	1	1	
	2	配置位置到着後、後方にラバコンと矢印板を設置する	車両降車時、通行車両と接触する	2	3	6	車両通行側と原則反対側で降車を行う	全員	1	2	2	
	3	車両通行状況の監視、交通流を把握し、状況を一宮管	通行車両と作業員が接触する	2	2	4	上流監視を設置し、注意喚起を行う	全員	1	2	2	・渋滞後尾に配置する場合は、必ず、管制及びメンテに指示を受けてから出発する
		事務所へ報告。後尾警戒を行う	通行車両と後尾警戒車両が接触する	2	2	4	走行時、後方確認を行う	全員	1	2	2	
			表示を間違える	2	1	2	停車時、サイドミラーを折りたたむ	全員	1	2	2	
							誤表示がないか確認する	全員	1	1	1	
移動		現場離脱										
	1	ラバコン等の撤去	回収わずれによる事故発生のおそれ	1	3	3	規制材回収後、全員で再度、規制材の確認をする	全員	1	1	1	【セーフティーバイブル】
		規制材の落下防止	規制材が荷台から落下し、二次災害が発生する	1	3	3	運行前にシート、ネット掛け養生を確実にする	全員	1	1	1	・規制編【RE-07】ピカポン
	2	現場離脱連絡を一宮管制或いは保全SCIに連絡	連絡を忘れる	2	1	2	確実に連絡する	職長	1	1	1	・規制編【RE-15】後尾警戒車後退の禁止
	3	無線閉局、作業終了連絡を一宮管制或いは保全SCIに	連絡を忘れる	2	1	2	確実に連絡する	職長	1	1	1	・規制編【RE-24】矢印板用ウエイト
	4	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	周囲確認をして運転する	運転手、助手	1	2	2	